

の)のうち、写真版として良好なものを選んで収録したもので、木簡の釈文・出土遺構・木簡の内容の注解を加えたものである。日本古代の木簡の全体像を概観しようとしたもので、木簡学会十周年の区切りの事業としてふさわしいものとして発案された。執筆は石上英一・今泉隆雄・加藤 優・鬼頭清明・倉住靖彦・栄原永遠男・佐藤 信・佐藤宗諄・杉本一樹・東野治之・平川 南・山中敏史・和田 萃の諸氏が出土遺構・木簡の注解等を分担した。またそれ以外に平野邦雄「木簡と古代史研究」、田中 琢「木簡と考古学」、狩野 久「木簡概論」、佐藤 信「木簡研究の歴史」の四論考を収録することになっている。編集の実務は石上英一・鬼頭清明・栄原永遠男・佐藤 信の諸氏が行い、十一月現在で初校ゲラの検討を行っている。当初の予定では今年度前半に出版の予定であったが、注解や出土遺構の解説原稿の量がふくらみ、大はばに遅延することとなった。現状では来年度当初には公刊できるものと考えている、なお本書は岩波書店から刊行の予定である。

木簡学会役員（一九八九・九〇年度）

会 長	副会長	委 員	監 事	幹 事
平野 邦雄	大庭 脩	青木 和夫	田中 稔	橋本 義則
	田中 琢	綾村 宏	長山 泰孝	森 公章
	加藤 優	鬼頭 清明	寺崎 保広	
	栄原永遠男	佐藤 宗諄	本郷 真紹	吉川 真司
	東野 治之	原 秀三郎	西山 良平	
	町田 章	八木 充	村上 隆	渡辺 晃宏
	吉田 孝	松下 正司		
		早川 庄八		
		笹山 晴生		
		狩野 久		
		和 夫		
		久		
		鬼頭 清明		
		佐藤 宗諄		
		原 秀三郎		
		八木 充		
		松下 正司		
		和田 萃		
		田中 稔		
		館野 和己		
		橋本 義則		
		森 公章		